



2018年度 鶴巻温泉病院賞表彰

6月11日の新年度集会で2018年度病院賞を表彰しました。

今年は病棟や職場全体での取り組みが多く評価されました。力を合わせて成し遂げる姿は鶴巻温泉病院の誇りだと思います。ありがとうございました。

病院賞 表彰式



金賞	在宅療養後方支援病院 関係者、3西・2東職員、 外来、地域連携室	「在宅療養後方支援病院」として緊急 入院受け入れ68件、救急車7件。 高齢者救急受入れで地域に貢献した。
銀賞	4階東スタッフ 代表 井関看護師	介護医療院開設に向けて抑制ゼロをめざ し、実現。ミトンの代わりに手袋を工夫。
銀賞	感染管理室 近藤室長、 三橋看護師、感染対策 委員会、ICT	耐性菌の新規検出を3分の1に減らした (MRSA 月0.7件など)。感染予防策 強化に取り組んだ3年間の努力

銅賞	サービスシステム開発室 遠藤室長 (患者等相談窓口責任者)	相談された患者さま・ご家族に真摯に対応し、信頼関係を築いた。 接遇標語のユニークな発表方法 (明るく元気に唱和)
	看護部 古矢副主任、栄養科 高 (たかし)、 TQM課 宇賀神課長、木下係長、広報室 佐治	障害者雇用支援ポスター原画 写真の部「厚生労働大臣賞」 「高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長奨励賞」受賞
	3西 (地域包括ケア病棟) 職員	患者さまの在宅復帰率70%以上を1年間維持した。
	放射線科、検査科 看護師特定行為チーム	休職者があったが、チームで協力し、業務を遂行した
	柏木副部長、下田科長、水谷科長 総務 稲垣係長	3人でチームを組み、カンニューレ交換200名実施。患者さま・医師を サポートし、看護師にとってロールモデルとなった。 毎朝、病院周囲の清掃を一人継続してくれている。

学 術 功 労 賞	医師 清水 学	Spinal Cord Series and Cases 2018 Jun 19; 4: 51. doi: 10 1038/241394-018-0082-7 Satoru Shimizu, Masashi Nakajima, Masayuki Yamazaki, Takasi Nagayama, and Ryuta Suzuki Weaning from long-term mechanical ventilation utilizing closed-loop ventilation mode (iOntelliVent®-ASV) in a patient with spinal cord injury		
	理学療法士 大江 健人	理学療法 技術と研究 47 p77-81 2019 「腰椎圧迫骨折後の疼痛に対し、経皮的電気刺激と運動療法の併用が有効であった1例」		
	看護師 魏 志慧	中国から来日、1年間で看護師国家試験合格	安 全 文 化 功 労 賞	地域連携室 離院センサーの確認を怠らず事故防止に努めた。
	看護師 張 麗娜	中国から来日、1年間で看護師国家試験合格		医師 胸部レントゲンフィルムに「気管切開」が無いことに 坂場 秀行 気づき、主治医として間違えを未然に防いだ。
	医師 小菅 康史	日本リハビリテーション医学会専門医取得	リハビリ部 リハ全スタッフが年3回BLSを実施	
	介護福祉士 鈴木 大輔	YMCAで介護職の講義を行い、当院への介護 職員入職につなげた。	C S 賞	6票 理学療法士 成田 彰信、ソーシャルワーカー 小松 真由
	栄養科 關 由里子	平塚保健事務所秦野センター連携調整会議 「栄養情報提供書」普及に向け、地域で講演		5票 理学療法士 平山 将大、ソーシャルワーカー 伊丹 晴可 4票 医師 澤田石 順、理学療法士 岡野 清音、 作業療法士 吉田 悠佑、介護福祉士 早川 誠

金賞 (代表) **蓮江 健一郎 第2診療部長** 在宅療養後方支援病院関係者が金賞をいただき、大変うれしく
思っています。在宅療養後方支援病院は在宅医療を受けている登録患者・家族およびかかりつけ医を支援する
制度であり、当院で可能な限り緊急対応させていただき診療・入院対応をさせていただきます。
まだまだ必要とされる患者さまは多いと思われ、在宅医療を担う先生方とも協力して登録を増やし、この制度を円滑に
活用できるよう充実させていきたいと思えます。一緒に頑張った関係職員の皆様に感謝いたします。

銀賞 (代表) **4階東 井関 菊代 看護師** 銀賞をいただきありがとうございました。4階東病棟は、2019年4月1日
より介護医療院へ移行しました。入所者さまの「生活の場を重視したケアや意思・尊厳を守る」ことを大切にしたい
と考え、抑制解除へ向けた取り組みを行っています。抑制の中でもミトンの使用が多く、スタッフは、代替えになる方
法はないか手袋をいくつも作成し、工夫しました。手袋を作成するのは時間がかかり大変ですが、入所者さまの笑顔が増え
るよう今後も努力して参ります。

銀賞 (代表) **感染管理室 三橋 奈美江 感染管理認定看護師** 院内感染対策を実践するのは、感染管理室
ではありません。耐性菌の新規発生減少は、病棟に関わる職員が日々の感染対策をしっかりと実践した成果と考
えます。感染対策のゴールは、「すべての人を重篤な感染から守る」です。様々な感染症が流行する中で、院内に
感染症を持ち込まない、感染拡大させないためにも院内の感染対策にご協力をお願いします。